

第52回 九州医療ソーシャルワーカー研修会 さが大会
ワークショップ・シンポジウム・中堅者研修についてのご案内

さが大会では2日目にワークショップ・シンポジウム・中堅者研修を開催いたします。
たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

<ワークショップ>

◆A会場

認知症の人を支える街づくり ～医療ソーシャルワーカーにできること～

講師：猿渡進平 先生

(厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室)

(日本医療ソーシャルワーク学会 理事)

(元 医療法人静光園 白川病院地域医療連携室 室長)

医療ソーシャルワーカーが患者の声を実現化する為のプロセスをお話したいと思
います。医療ソーシャルワーカーとして、患者の退院先を検討する際に「本人の希望と
は違うが”仕方ない”」と思う事はありますか？私達の専門性を活かし、本人本位を追
及しましょう。

◆B会場

格差是認の現代社会における偏見・差別 に晒される人々への地域包括支援

—SWの専門性に求められるものは何か—

講師：齊場三十四 先生

(佐賀大学医学部 名誉教授)

(医療法人かぶとやま会久留米リハビリテーション病院 福祉施設準備室 室長)

- ① 障害・高齢者への偏見・差別はスキーム化されたためになくす発想はきえた？
- ② わが国では、ノーマリゼーションより、スティグマ化と管理化社会軸になってきたとの
認識は隠されたの？
- ③ 何故医療の要である医師は、患者の意見が聞こえなくなるか？
- ④ SWは患者（対象者）の立場に立つことをやめたのか？
- ⑤ 今、求められる地域包括ケアの連携実践は、どのように進めるか、そこに求められるも
のは何か？

今回、介護の改革では、対象者の貯金通帳を提出させる、教育カリキュラムもないの
に「かかりつけ医」を記載する制度設計は偏見、差別を基盤としたものであろう。進歩
した現代社会である筈なのに我々は、今、何を解決しなければならないのかを考察して
みたい。

◆C会場<教育講演およびシンポジウム> (小ホール)

<教育講演> 09:30~10:20

認定社会福祉士制度について ~地域包括ケアシステムを視野に入れて~

講師: 潮谷有二 先生 (長崎純心大学現代福祉学科教授)

<シンポジウム> 10:40~12:30

それぞれの立場から考える地域包括ケアと権利擁護

座長: 古賀義行 先生 (武雄杵島地区医師会会長 敬天堂古賀病院理事長)

シンポジスト:

教育・学識者の立場より…潮谷有二 先生 (長崎純心大学現代福祉学科教授)

司法の立場より…江越正嘉 先生 (わかくす法律事務所 弁護士)

行政の立場より…山口光之 先生 (佐賀県中部保健福祉事務所 所長 行政職)

在宅支援の立場より…永松五百重 先生

(武雄杵島地区医師会きしま訪問看護ステーション 管理者 看護師)

施設の立場より…松永幸子 先生 (NPO 法人 幸の輪 代表 社会福祉士)

後見人の立場より…桧枝和広 先生 (一般社団法人 仲間たち代表 独立型社会福祉士)

2日目のC会場 (小ホール) は、二部構成といたします。

前半は長崎純心大学現代福祉学科より潮谷有二先生をお迎えし地域包括ケアと認定社会福祉士の必要性について講演頂き、MSWに必要とされる専門性について認識を深めます。後半のシンポジウムでは、地域包括ケアシステムの主軸を担う各分野のシンポジストに今後の展望を伺いながら、MSWが持つ専門性との連携の必要性を導き出していきます。

◆D会場<中堅者研修>

スーパービジョン

講師: 竹内一夫 先生 (兵庫大学・生涯福祉学部社会福祉学科 学科長)

(日本医療ソーシャルワーク学会 副会長)

本研修は、実務4年以上15未満の現任者を対象とした、九州医療ソーシャルワーカー協議会教育研修部との共同企画です。スーパービジョンとは何か。実践を支援する方法として、また利用者により良いサービスを届ける方法、論拠の示せる実践のために、スーパービジョンが持つ機能や個別スーパービジョンの展開方法などの講義の後、実際の事例をもとにスーパービジョンを体験していただく充実した内容となっています。

※参加者に積極的にスーパービジョンを体験していただくために、事前に所定の個別スーパービジョン事例提供シートを作成していただきます。シートは、後日、中堅者研修参加希望者あてに郵送いたしますので、各自で作成して当日にご持参ください。

※研修の進行によっては昼食の時間が多少短くなる場合があります。研修のスムーズな進行のため、参加者はお弁当を注文されるか、または各自でご準備いただき、研修会場内でお召し上がりいただくよう、ご協力をお願いいたします。

※中堅者研修は大会2日目に終日開催となります。終日参加できる方のみ、受講をお願いいたします。